

MOBI BOT リリースノート

バージョン 2.21.1

リリース内容

Release contents

1

[新機能]Microsoft社製 AIエンジンの
「Conversational Language Understanding（会話言語理解）」への対応

2

[新機能] LINEWORKS API 2.0に対応

3

[新機能]リッチメッセージ（共通）のテンプレートで
LINEのPostbackパラメーター「inputOption」「fillInText」に対応

4

[改善]アクション新規登録時に
デフォルトルールがない場合、作成中のアクションを設定するように変更

5

[機能拡張]メール送信処理で画像以外のファイル添付に対応

Microsoft社製の新たな機械学習を適用するAPIサービスに対応しました。

LUISの後継サービスとなる会話言語理解のカスタム機能をMOBI BOT、MOBI BOT consoleで利用可能になりました。

※ご利用にはMOBI BOT consoleのご契約が必要となります。

The image shows a screenshot of the MOBI BOT console interface. On the left, a sidebar menu includes 'シナリオ管理', '統計', 'ファイル管理', 'LINEリッチメニュー管理', 'タグ管理', 'AIエンジン管理', '環境変数設定', '外部接続設定', and 'その他情報'. The main area displays 'シナリオ編集 (shared CLU (1))' with tabs for '基本設定' and 'アクション設定'. A 'コンフィグ情報' button is highlighted with a red box. A red callout bubble points to this button, containing the text: 'コンフィグ情報で mscluを選ぶと consoleで設定されている値が挿入されます'. In the center, a 'プロフィール編集' dialog box is open, showing 'プロフィール名' as 'プロフィール_1' and 'AIタイプ' as 'msclu'. Below this, there are input fields for 'resourceName', 'apiKey', 'projectName', and 'deploymentName'. A 'マクロ入力' button is visible. A second red callout bubble points to the 'マクロ入力' button, containing the text: 'マクロ入力からも consoleで設定されている値を呼び出すことが可能です'. At the bottom right, a dropdown menu is open, showing a list of macro inputs: 'プロジェクト名', 'デプロイメント名', 'APIキー', 'リソース名', 'APIバージョン', and '知識DB'. The date and time '2023/01/20 10:36:34' are also visible.

リリース内容

Release contents

1

[新機能]Microsoft社製 AIエンジンの
「Conversational Language Understanding（会話言語理解）」への対応

2

[新機能] LINEWORKS API 2.0に対応

3

[新機能]リッチメッセージ（共通）のテンプレートで
LINEのPostbackパラメーター「inputOption」「fillInText」に対応

4

[改善]アクション新規登録時に
デフォルトルールがない場合、作成中のアクションを設定するように変更

5

[機能拡張]メール送信処理で画像以外のファイル添付に対応

LINEWORKS API 2.0 に対応したアクションが作成できるようになりました。

※LINE WORKS API 1.0は、2023年4月30日をもって利用不可となりますのでご注意ください。



リリース内容

Release contents

1

[新機能]Microsoft社製 AIエンジンの「Conversational Language Understanding（会話言語理解）」への対応

2

[新機能] LINEWORKS API 2.0に対応

3

[新機能]リッチメッセージ（共通）のテンプレートでLINEのPostbackパラメーター「inputOption」「fillInText」に対応

4

[改善]アクション新規登録時にデフォルトルールがない場合、作成中のアクションを設定するように変更

5

[機能拡張]メール送信処理で画像以外のファイル添付に対応

LINEのメッセージで新たに追加されたパラメーターに対応しました。

共通テンプレートのコラムの編集

送信するメッセージの内容を編集します。

テキスト 必須
テキストを入力

ラベル
ラベルを入力

タイプ
ポストバック

ラベル
ラベルを入力

データ
データを入力

テキスト
テキストを入力

入力オプション
入力オプションを選択

フィルテキスト
フィルテキストを入力

条件として追加

リッチメッセージ（共通）の
テンプレートアクションで
ポストバックを選択すると
・入力オプション
（inputOption）
・フィルテキスト
（fillInText）
の項目がセット可能

入力オプション（inputOption）では、
アクションに応じたリッチメニューなどの表示方法を設定します。

※参照：<https://developers.line.biz/ja/reference/messaging-api/#postback-action>

アクションの編集 条件・後継アクションを見る
このシナリオ内にアクションを編集します。

アクション名
新しいアクション_1

コメント マクロ入力

送信するメッセージを作成する
メッセージタイプを選択し、送信するメッセージの内容を編集します。

テンプレート（共通）

共通 - テンプレート

ヒント
LINEボタン MSBot Skype Hero MSBot Webchat Hero Facebookジェネリック
AppleECリストビッカー LineWorksボタン ヒントを選択

代替テキスト
Alternative text

表示カード
使用する任意項目
 イメージ タイトル サブタイトル URL

共通テンプレートのコラムの編集
送信するメッセージの内容を編集します。

テキスト
テキストを入力 マクロ入力

ラベル マクロ入力

タイプ
ポストバック

ラベル
ラベルを入力

データ
データを入力

テキスト
テキストを入力

入力オプション
入力オプションを選択

- リッチメニューを閉じる
- リッチメニューを開く
- キーボードを開く
- ボイスメッセージ入力モードを開く

条件として追加

・入力オプション（inputOption）は4つの項目が設定可能です。

フィルテキスト（fillInText）では、
キーボードを開いたときに、入力欄にあらかじめ入力しておく文字列を設定します。

※参照：<https://developers.line.biz/ja/reference/messaging-api/#postback-action>

アクションの編集 条件・後継アクションを見る
このシナリオ内にアクションを編集します。

アクション名
新しいアクション_1

コメント マクロ入力

送信するメッセージを作成する
メッセージタイプを選択し、送信するメッセージの内容を編集します。

テンプレート（共通）

共通 - テンプレート

ヒント
LINEボタン MSBot Skype Hero MSBot Webchat Hero Facebookジェネリック
AppleECリストビッカー LineWorksボタン ヒントを選択

代替テキスト
Alternative text

表示カード
使用する任意項目
 イメージ タイトル サブタイトル URL

共通テンプレートのコラムの編集
送信するメッセージの内容を編集します。

テキスト
テキストを入力

ラベル マクロ入力

タイプ
ポストバック

ラベル
ラベルを入力

データ
データを入力

テキスト
テキストを入力

入力オプション
キーボードを開く

フィルテキスト
フィルテキストを入力

条件として追加

・フィルテキスト（fillInText）は、入力オプション「キーボードを開く」の時のみ設定可能です。

リリース内容

Release contents

1

[新機能]Microsoft社製 AIエンジンの「Conversational Language Understanding（会話言語理解）」への対応

2

[新機能] LINEWORKS API 2.0に対応

3

[新機能]リッチメッセージ（共通）のテンプレートでLINEのPostbackパラメーター「inputOption」「fillInText」に対応

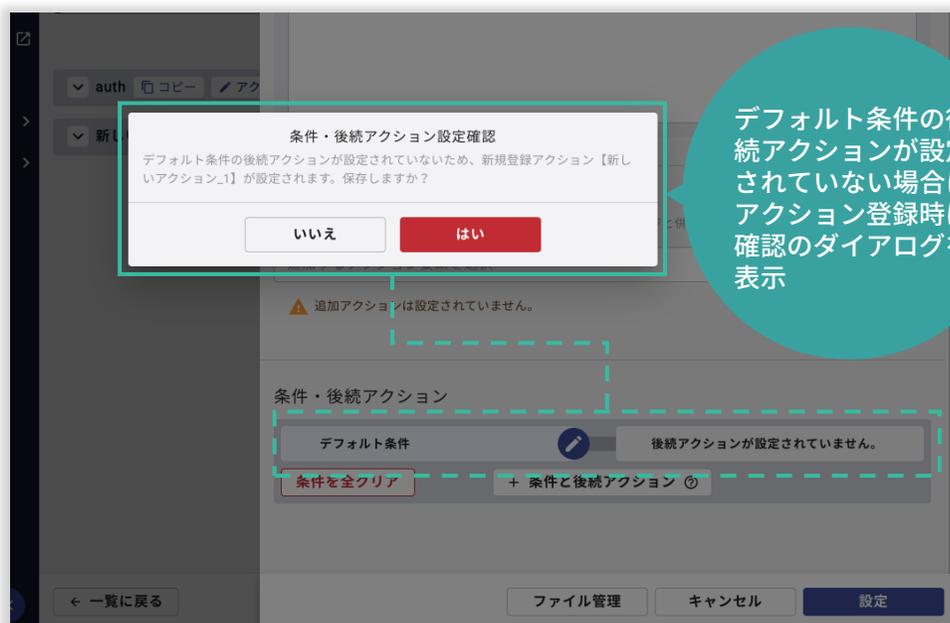
4

[改善]アクション新規登録時にデフォルトルールがない場合、作成中のアクションを設定するように変更

5

[機能拡張]メール送信処理で画像以外のファイル添付に対応

デフォルト条件で後続アクションをセットしていない場合にシナリオが正常に動作しない可能性があるため、自動でそのアクション自体をセットします。



デフォルト条件の後続アクションが設定されていない場合に、アクション登録時に確認のダイアログを表示



自動でそのアクションが後続アクションとしてセットされます

リリース内容

Release contents

1

[新機能]Microsoft社製 AIエンジンの「Conversational Language Understanding（会話言語理解）」への対応

2

[新機能] LINEWORKS API 2.0に対応

3

[新機能]リッチメッセージ（共通）のテンプレートでLINEのPostbackパラメーター「inputOption」「fillInText」に対応

4

[改善]アクション新規登録時にデフォルトルールがない場合、作成中のアクションを設定するように変更

5

[機能拡張]メール送信処理で画像以外のファイル添付に対応

定義済み関数 (Shared) Utility setFileAsyncでファイル情報をID形式でルームタグに保存した場 合にもメール送信時にファイル添付できるようになりました。

※ID形式をご利用の場合、画像以外のファイルもメールに添付して送信することができます。

※メール送信機能のご利用には、別途オプションのお申し込みが必要です。

送信するメッセージを作成する 入力

メッセージタイプを選択し、送信するメッセージの内容を編集します。

定義済み関数(Shared) ▼

^ 定義済み関数(Shared)

Class

Utility ▼

Function

setFileAsync ▼

invoke_method_params

type: id

Add

type: idを指定してファイル情報をルームタグに保存

お問い合わせ・ご相談

ソリューションに関するご相談・お見積りは、
メールにてお問い合わせください。



<https://mobilus.co.jp/contact>



contact@mobilus.co.jp



